

平成28年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 平成28年 4 月 1 日
至 平成29年 3 月31日

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会本部としての総合的な企画調整機能及び経営管理体制の充実強化を図るとともに、各施設等との連携による効率的かつ効果的な経営に努めた。

ア 社会福祉法人制度改革への対応

イ 社会福祉法人会計基準による適正な会計の運用及び管理並びに財産の適正運用など財務管理の充実

ウ 清風園の管理給食棟新築等工事の実施及び桜ふれあいの郷建替整備方針の見直し・決定

エ 計画的な職員採用による人材の確保と各課・事業等における適正な人員配置

オ マイナンバー制度に基づく特定個人情報等の取扱規定の整備及び適切な運用

カ 活力ある組織（職場）づくりと職場環境の整備

- ・職員研修の実施
- ・定期健康診断、ストレスチェック、生活習慣病検診事業の実施及び人間ドック等の実施
- ・機関紙「かたらい」の発行、ホームページの適宜更新等による広報活動の推進

(2) 事業実績

事業一般

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
4	○第1回課長施設長等会議 ○第67回理事会	○新規採用職員研修（前期）	
5	○平成27年度決算監査 ○第68回理事会 ○第53回評議員会		
6	○施設等運営指導監査 ○第2回課長施設長等会議		
7	○機関紙「かたらい」第88号発行 ○施設等運営指導監査 ○苦情解決連絡会議 ○職員採用試験	○事務担当者研修	
8	○職員採用試験		○定期健康診断・生活習慣病検診
9	○職員採用試験 ○職員身上報告書提出	○平成29年度新規採用者事前研修	○定期健康診断・ストレスチェック・生活習慣病検診
10	○平成29年度事業計画・施設整備費等ヒヤリング ○平成29年度事業計画・予算編成		○定期健康診断・ストレスチェック・生活習慣病検診
11	○職員身上報告書（ヒヤリング）	○新規採用職員研修（後期）	○定期健康診断・生活習慣病検診
12	○第69回理事会 ○第54回評議員会 ○平成28年度補正予算編成 ○第3回課長施設長等会議 ○協会職員（永年勤続等）表彰	○平成29年度新規採用者事前研修	○定期健康診断・生活習慣病検診

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
1	○機関紙「かたらい」第89号発行	○虐待防止研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
2	○第70回理事会 ○第55回評議員会 ○職員採用試験		○定期健康診断・生活習慣病検診
3	○第4回課長施設長等会議 ○第71回理事会 ○第56回評議員会 ○評議員選任・解任委員会	○平成29年度新規採用者事前研修 ○退職準備講座	

2 支援業務課

とちぎリハビリテーションセンター駒生園の利用者の自立と社会参加を促進するための支援等を行った。

- ア 個々の能力やニーズに沿ったサービスの提供
- イ 個別支援計画の作成
- ウ 個別支援計画に基づく日常生活の支援、機能訓練、生活訓練（高次脳機能障害）、健康管理等
- エ 利用者及び家族等に対する相談支援
- オ その他、施設の運営方針に付随する業務

3 母子生活支援施設 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子の福祉増進や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関との連携を強化しながら次の事業を行った。

ア 個別対応職員を配置し、虐待を受けた子どもへの面接、生活場面での対応及び母親への援助を積極的に行い、子どもが良好な人間関係を築けるよう支援した。

イ 心理療法担当職員による心理面接等の専門的援助を行い、母子の心のケア及び社会適応力を高めるための支援を行った。

ウ 母親の就労状況や様々なニーズに応じた施設内保育を行った。

エ 就労に向けた支援を強化するため、ハローワーク等を積極的に活用し、求人情報を提供するとともに、資格取得の促進に努めた。

オ 保育所及び学校との連携を強化するとともに、学習支援や様々な体験活動等を行い、子どもの健全育成に努めた。また、母子支援員を中心とした細やかな支援に心がけ、貧困の世代間連鎖防止に努めた支援を行った。

カ 常直体制や警察との連絡体制の強化により、夜間や緊急時の利用者の安全確保に努めた。

キ とちぎ男女共同参画センター、福祉事務所及び児童相談所との緊密な連携強化を図ることにより、利用者の保護・自立に向けた支援を行った。

ク 栃木県からの委託事業である一時保護事業により、DV被害等による緊急保護を行った。

ケ 支援内容の再確認や職員間の共通認識を図り、質の高い生活支援の提供に努めた。

コ 職種に合わせた専門研修への積極的な参加など、職員の質の向上に努めた。また、支援技術の向上を目的とする先進施設等の見学、研修交流を実施した。

(2) 利用者の状況 (入所定員 20世帯)

区分	項目 年 度	年間延 利用者数		月平均 利用者数		3月31日現在 在籍者数		入 所		退 所	
		27	28	27	28	27	28	27	28	27	28
世帯数(世帯)		226	207	18.8	17.3	17(2)	18	6	13	10(2)	10
家族人員(人)		688	470	57.3	39.2	52(8)	52	17	35	30(8)	27
	母 親	226	207	18.8	17.3	17(2)	18	6	13	10(2)	10
	児 童	462	263	38.5	21.9	35(6)	34	11	22	20(6)	17

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

(3) 事業実績

事業一般

月	支 援	保 健 ・ 衛 生	防 災 対 策	施設の社会化等
4	○入学祝い			○ホンダ労組ふれあい交流
5	○端午の節句 ○母の日のプレゼント作り ○お楽しみ会（小学生）			○福祉事務所との連絡会議（第1回）
6	○母と子のつどい（第1回） ○母親教養講座（第1回）	○健康診断（母親）		○国本中学校との連絡会議（第1回） ○晃宝小学校との連絡会議（第1回） ○保育園との連絡会議（あゆみ北・西が岡保育園）
7	○七夕会 ○納涼大会（施設機能強化推進事業） ○ラジオ体操			
8	○小学生体験学習（施設機能強化推進事業） ○小学生調理体験 ○食事会			
9				
10	○小中学生社会科見学 ○母と子のつどい（第2回） ○動物ふれあい体験 ○ハロウィンイベント			○雇用促進連絡会議
11	○食事会（施設機能強化推進事業） ○七五三のお祝い			○国本中学校との連絡会議（第2回） ○晃宝小学校との連絡会議（第2回） ○福祉事務所との連絡会議（第2回）
12	○クリスマス会 ○母親教養講座（第2回） ○正月準備（施設機能強化推進事業）	○大掃除		
1	○書初め大会 ○食事会		○総合防災訓練 ○不審者対応訓練	
2	○ボウリングゲーム（施設機能強化推進事業） ○節分 ○スキー教室	○健康診断（母親・子）		○保育園との連絡会議（あゆみ北・松原・西が岡保育園）
3	○ひなまつり ○懇親会 ○小学生調理体験 ○DVD鑑賞会 ○自立支援料理教室 ○いちご狩り体験		○消防設備保守点検 ○非常用通報装置点検	○貸出図書・DVDの整備
定例	○書道教室（毎月第1・3水曜日） ○学習支援（随時） ○英語教室（月2回） ○お絵かきクラブ（月1回） ○誕生祝い（随時） ○母親常会（偶数月） ○母親役員会（奇数月） ○子ども常会（随時） ○施設内保育（随時）	○施設内・近隣清掃（毎月第3日曜日）	○避難訓練（毎月第2水曜日） ○消防設備等外観点検（月1回） ○居室点検（月1回）	○「蒲公英」発行（月1回） ○学生施設実習（随時）

- 4 障害児入所施設 桜ふれあいの郷
障害者支援施設
共同生活援助事業所 ふれあい

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格の尊重を基本に、次の事業を行った。

- ア 生活介護や自立訓練（生活訓練）、就労継続支援B型の日中活動及び施設入所支援について、利用者の状況に応じた支援内容や作業種の見直し検討を行い、質の高いサービスの提供に努めた。
- イ 倫理綱領及び職員行動指針を徹底するとともに、虐待防止委員会を中心とした自己チェックを実施するなど法令遵守、職業倫理の意識向上を図り、虐待防止に努めた。
- ウ 利用者支援の質の向上のため、リスクの早期発見、改善に努める等リスクマネジメントの徹底を図るとともに、職員の資質向上を目的とする各種研修を実施した。
- エ 福祉サービス第三者評価の結果を踏まえ、運営における課題を把握し、サービスの質の向上に取り組んだ。
- オ 在宅障害児者とその家族の支援について、相談支援事業や短期入所事業、日中一時支援事業を行うとともに、就労や地域生活に関して、職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業や障害者就業・生活支援センター事業を行い、関係機関との連携による職場への定着及び生活の安定向上に努めた。
- また、障害児者が適切なサービスを受けられるように、障害福祉サービス等の利用計画を作成したほか、精神科病院から退院する障害者に対し、地域生活に移行するための支援を実施した。
- カ 就労継続支援B型において、利用者が生産したサツマイモ「紅あずま」を原料とした焼酎「郷のかおり」を販売し、付加価値を高めた3年古酒及び5年古酒の販売を継続するなど、自主製品販売推進委員会を中心に販売促進に努めた。また、焼き菓子とパンの製造・販売やシルバー大学校のユニホーム等のプリント加工・販売を行い、利用者の工賃向上に努めた。
- キ 衛生管理や健康管理については、医療機関との連携のほか、利用者の体調急変に適切に対応できるよう、職員が救命救急講習会を受講するなど、健康で安全、安心できる生活の提供に努めた。
- ク 不審者等の侵入への対応方法など、不測の事態に対応できる技能を身につけられるよう防犯訓練を実施した。
- ケ 成年後見制度を有効に活用し、利用者の権利擁護に努めた。
- コ 地域住民へのグラウンド・体育館の貸し出しを行うとともに、施設体験研修及び交流行事等を行い、施設の社会化や地域との交流に努めた。
- サ 建替整備については、移転整備から現在地での建替に方針を変更するなど、検討を進めた。
- シ 地域における公益的な取組として、栃木県障害・施設事業協会のセーフティネット拠点事業を継続実施したほか、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会のいちごハートねっと事業に参加し、地域ニーズに応えられる施設づくりを目指した。

また、さくら市と災害発生時における指定福祉避難所の設置運営に関する協定を締結し、地域の障害者の避難所機能としての役割を担うこととなった。

(2) 利用者の状況

障害児入所施設 (利用定員 障害児入所支援 30名)

(人)

年齢	性別	項目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度	年 度	利 用 者 数	延 数	利 用 者 数	平 均 数	利 用 者 数	現 在 数	27	28	27	28
9歳以下	男			12	12	1.0	1.0	1	1				
	女												
10～14歳	男			68	68	5.6	5.7	7	7	2		1	
	女				12		1.0	1			1		
15～17歳	男			15	24	1.3	2.0	2	2	1			
	女			24	48	2.0	4.0	2	4		2		
18～19歳	男			6	3	0.5	0.3		1			1	
	女							1			1		2
20～24歳	男			29	12	2.4	1.0	1	1				
	女			12	24	1.0	2.0	1	2				
25～30歳	男			12	12	1.0	1.0	1	1				
	女			12	12	1.0	1.0	1	1				
31歳以上	男			60	60	5.0	5.0	5	5				
	女			57	57	4.8	4.8	5	5				1
計	男			196	188	16.3	15.7	17	17	3			3
	女			111	144	9.3	12.1	9	13		4		2
合 計				307	332	25.6	27.8	26	30	3	4		5

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

生活支援施設 (利用定員 生活介護 150名 自立訓練 10名 施設入所支援 150名)

(人)

年齢	性別	項目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度	年 度	利 用 者 数	延 数	利 用 者 数	平 均 数	利 用 者 数	現 在 数	27	28	27	28
19歳以下	男			12		1.0		1		1			
20～29歳	男			78	84	6.5	7.0	7	7	2		2	
	女			8	12	0.7	1.0	2	1	2			
30～39歳	男			96	84	8.0	7.0	8	7(1)	1			1(1)
	女			117	108	9.8	9.0	10	10	3			
40～49歳	男			192	216	16.0	18.0	16	18		1		
	女			144	154	12.0	12.8	12	12	2			1
50～59歳	男			187	180	15.6	15.0	16	16			1	
	女			96	84	8.0	7.0	8	7				
60～69歳	男			240	242	20.0	20.2	20	20		1		1
	女			232	237	19.3	19.8	20	18			1	1
70歳以上	男			89	72	7.4	6.0	8	9			2	
	女			234	254	19.5	21.2	20	20		1	2	3
計	男			894	878	74.5	73.2	76	77(1)	4	2	5	2(1)
	女			831	849	69.3	70.8	72	68	7	1	3	5
合 計				1,725	1,727	143.8	144.0	148	145(1)	11	3	8	7(1)

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

就労支援施設 (利用定員 生活介護 20名 就労継続支援B型 60名 施設入所支援 40名)

(人)

年齢	性別	項目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度	年 度	利 用 者 数	延 数	利 用 者 数	平 均 数	利 用 者 数	現 在 数	27	28	27	28
20～29歳	男			12	12	1.0	1.0	1	1				
30～39歳	男			60	61	5.0	5.1	5	5			1(1)	
	女			45	48	3.8	4.0	4	4	1			
40～49歳	男			132	108	11.0	9.0	11(1)	10	1			
	女			60	48	5.0	4.0	5	4	1			
50～59歳	男			24	23	2.0	1.9	2	1				1
	女			48	36	4.0	3.0	4	3				
60～69歳	男			24	21	2.0	1.8	2	1				1
	女			24	36	2.0	3.0	2	3				
70歳以上	男			24	34	2.0	2.8	2	3		1		
	女			24	24	2.0	2.0	2(1)	2			1(1)	
計	男			276	259	23.0	21.6	23(1)	21	1	1	1(1)	2
	女			201	192	16.8	16.0	17(1)	16	2		1(1)	
合 計				477	451	39.8	37.6	40(2)	37	3	1	2(2)	2

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

共同生活援助事業所（利用定員 54名）

(人)

年齢性別	項目 年度	年間利用者数		月平均者数		3月31日現在者数		入所		退所	
		27	28	27	28	27	28	27	28	27	28
19歳以下	男女										
20～29歳	男	39	36	3.3	3.0	3	3				
	女	48	48	4.0	4.0	4	4				
30～39歳	男	45	48	3.8	4.0	4	4				
	女	45	36	3.8	3.0	3	3				
40～49歳	男	60	70	5.0	5.8	5	6				
	女	63	72	5.3	6.0	6	6				
50～59歳	男	57	48	4.8	4.0	4	4				
	女	102	96	8.5	8.0	8	8				
60～69歳	男	56	60	4.7	5.0	5	5				
	女	77	84	6.4	7.0	7	7				
70歳以上	男	32	27	2.7	2.3	3	2				
	女	12	12	1.0	1.0	1	1				
計	男女	289	289	24.1	24.1	24	24				
合計		347	348	28.9	29.0	29	29				
		636	637	53.0	53.1	53	53				

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	共通	○家族交流食事会	○身長測定	
	児童	○南那須特別支援学校入学式 ○外出		
	生活	○春の旅行		
	就労	○外出		
	グループホーム	○花見		
5	共通	○春のつどい	○結核検診 ○血圧測定 ○検尿	○さくら市一斉清掃
	児童	○外出		
	生活	○春の旅行 ○外出		
	就労	○外出		
	グループホーム	○春のつどい		
6	共通		○避難訓練（GH） （地震）	○サロン講座 ○相談援助実習（専門学校） ○初任者研修（教員） ○保育実習（学生）
	児童	○春の旅行 ○外出 ○特別支援学校運動会		
	生活	○外出 ○春の旅行		
	就労	○外出		
	グループホーム	○旅行		
7	共通		○子宮ガン検診 ○乳ガン検診	○消防設備点検
	児童	○学童外出		
	生活	○外出 ○あざみ祭り ○「えりのあ」と一福祉まつり		
	就労	○外出		
	グループホーム			
8	共通		○子宮ガン検診 ○害虫駆除	○防犯訓練
	児童	○納涼祭 ○利用者食事会 ○外出		
	生活	○外出		
	就労	○利用者食事会 ○外出		
	グループホーム			
9	共通	○栃木県障害者スポーツ大会	○子宮ガン検診	○総合防災訓練
	児童	○外出		
	生活	○秋の旅行 ○外出		
	就労	○秋の旅行		
	グループホーム	○栃木県障害者スポーツ大会		

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
10	共通 ○桜ふれあいの郷まつり	○心電図検査 ○血圧測定 ○検尿 ○害虫駆除	○ガス設備・器具点検	○初任者研修(教員) ○介護等体験(学生)
	児童 ○学童外出			
11	生活 ○秋の旅行 ○外出	○インフルエンザ予防接種 ○血液検査 ○前立腺ガン検診		○サロン講座 ○栃木県障害者文化祭参加 ○初任者研修(教員)
	就労 ○外出 ○さくら市マラソン大会			
12	グループホーム ○桜ふれあいの郷まつり ○さくら市福祉祭り ○熱田小学校運動会	○胃ガン検診		
	共通 ○栃木県障害者文化祭			
1	児童 ○南那須特別支援学校こぶし祭り ○外出 ○日産労連クリスマスチャリティー公演		○避難訓練(GH) (火災・洪水)	○産業現場等における実習 (富屋特別支援学校)
	生活 ○外出			
2	就労 ○秋の旅行		○防犯訓練	○さくら市一斉清掃 ○産業現場等における実習 (那須特別支援学校) ○サロン講座
	グループホーム ○支援センターふれあい交流会			
3	共通 ○クリスマス会 ○冬季家族交流	○害虫駆除	○総合防災訓練 ○消防設備点検(GH) ○消防設備総合点検 ○消防対象点検	
	児童 ○那須烏山マラソン大会			
定 例	生活 ○那須烏山マラソン大会	○嘱託医診療 内科(月2回) 整形外科(月2回) ○体重測定(月1回) ○理髪(隔月) ○歯科治療(週1回) ○リハビリテーション(毎日)	○避難訓練(月1回) ○消火栓点検(年2回) ○消火器、誘導灯点検(毎日) ○防災委員会(年2回) ○消防用設備等自主点検(年2回)	○学生施設実習(随時) ○衛生委員会事業(月1回) ○体育館・グラウンドの地域への貸出し ○総合防災訓練の地域への連絡 ○イベント等での生産物販売
	就労 ○クリスマス食事会			
1	グループホーム ○クリスマス会			
	共通 ○外出			
2	生活 ○外出			
	就労			
3	グループホーム ○映画鑑賞会			
	共通 ○節分			
1	児童 ○外出			
	生活 ○外出			
2	就労			
	グループホーム ○映画鑑賞会			
3	共通 ○家族食事会 ○ひなまつり			
	児童 ○南那須特別支援学校卒業式 ○外出 ○南那須特別支援学校高等部入学者選抜			

イ 就労支援事業

(ア) 農園部

区分	年度 項目	27		28	
		出荷量 (kg)	出荷額 (円)	出荷量 (kg)	出荷額 (円)
果樹科		1,844.3	658,802	685.6	232,850
農産科		22,157.2	7,651,795	30,826.9	6,488,725
合計		—————	8,310,597	—————	6,721,575

(イ) 受託部

区分	年度 項目	27		28	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
加工科		3,505,156	4,036,920	4,887,774	4,123,689
クリーニング科			2,261,412		2,261,412
除草作業			710,000		1,320,000
合計		—————	7,008,332	—————	7,705,101

(ウ) 製造部

区分	年度 項目	27		28	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
焼き菓子		29,708	1,671,050	33,131	1,534,960
パン		23,786	2,219,860	22,502	2,102,200
合計		—————	3,890,910	—————	3,637,160

(エ) 雑収入

区分	年度 項目	27		28	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
資源ごみリサイクル			19,822		20,552
送電線工事補償料			50,908		0
合計		—————	70,730	—————	20,552

(オ) 工賃

(円)

区分	年度	就労継続支援B型	
		27	28
総支給額 A		11,117,218	10,659,233
支給人数 B		60人	59人
平均支給額 A/B		185,287	180,665
最高支給額		288,052	308,179
最低支給額		56,563	31,246

注) 各事業の最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

(人)

区分	項目	拠点 区分	延人数	実人数	備 考
短期入所事業 (介護給付費)		児童	0 (10)	0 (3)	福祉型Ⅲ 0 (10)
		生活	386 (664)	7 (12)	福祉型Ⅰ 179 (373) 福祉型Ⅲ 6 (4) 福祉型Ⅱ 201 (287)
		就労	0 (205)	0 (5)	福祉型Ⅰ 0 (80) 福祉型Ⅱ 0 (125)
		計	386 (879)	7 (21)	
日中一時支援事業 (地域生活支援事業)		生活	2,409 (2,531)	27 (26)	4時間未満 H27 68.5% H28 70.0%
			724 (860)	25 (25)	4時間以上8時間未満 H27 23.3% H28 21.1%
			306 (302)	20 (21)	8時間以上 H27 8.2% H28 8.9%
		計	3,439 (3,693)	30 (28)	
職場適応援助者 (ジョブコーチ)支援事業	グループ ホーム	利用者支援	52件 (24件)	訪問型職場適応援助者を1名配置	
		ケース会議等	8件 (4件)		
障害者就業・ 生活支援センター	グループ ホーム	相談支援件数	3,854件 (3,707件)	平成19年度から県の委託(プレ) 平成20年度から国の採択を受け実施 平成25年度から就業支援担当1名増	
		個別支援計画書 作成件数	49件 (46件)		
		基礎訓練実施件数	3件 (4件)		
		職場実習件数	26件 (30件)		
		就職件数	50件 (46件)		
		相談・支援を 行った事業所数	129か所 (98か所)		
		事業主相談・ 支援件数	921件 (582件)		
相談支援事業	グループ ホーム	1,476件 (715件)	92件 (58件)	さくら市受託事業	
		計画相談支援	564件 (482件)	サービス利用支援 374件 (248件) 継続サービス利用支援 190件 (234件)	
		障害児相談支援	57件 (46件)	障害児支援利用援助	
		機関紙発行	1回 (1回)	施設単独事業	
障害支援区分認定調査業務	グループ ホーム		33件 (39件)	さくら市受託事業	
移動支援事業	グループ ホーム	219 (287)	53 (53)	契約市町 21 (21)	
福祉サロン	グループ ホーム	1,463 (1,357)	178 (150)	GI利用者 1,264 (87%) 在宅障害者 76 (5%) 地域住民 123 (8%)	
余暇支援	グループ ホーム		14 (14)	施設単独事業	

注) () 内は、平成27年度の実績を示す。

5 障害者支援施設 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格を尊重することを基本に、次の事業を行った。

- ア 生活介護、就労継続支援B型の日中活動及び施設入所支援について、利用者の状況に応じて支援内容の見直し検討を行い、質の高いサービス提供に努めた。
- イ 在宅障害者とその家族には、短期入所事業と生活介護の併用利用ができるよう援護の実施者に働きかけることや、他サービス利用後に日中一時支援事業が利用できるよう調整するなど、利用者や家族がニーズに応じて当園のサービス利用ができるように努めた。
- ウ 福祉サービス第三者評価の結果を踏まえた改善に取り組み、サービスの質の向上に努めた。
また、介護技術等に関する研修を受講し、支援の質の向上に努めた。
- エ 利用者の健康管理については、嘱託医や協力医療機関との連携を図り、疾病予防と再発防止に努めるとともに、看護師による職員研修を行い、安全で質の高い医療的ケアの提供に努めた。
また、管理栄養士による臨床検査結果を踏まえた栄養管理、個別の栄養相談を継続するとともに、看護師や生活支援員と連携し、摂食状況の変化に留意した個々のケアに努めた。
- オ インシデント・アクシデント報告により事故の再発防止に取り組むとともに、防犯訓練の毎月実施や押上小学校の協力を得た総合洪水避難訓練により、職員の危機意識及び防災意識を高めるなど、利用者の安全確保に努めた。
また、苦情に対する迅速な対応とともに、利用者自治会や家族会との話し合いを行うなど、良質なサービスを提供していくための環境づくりに取り組んだ。
- カ 権利擁護委員会及び虐待防止委員会を開催するとともに、障害者虐待防止法や差別解消推進条例に関する内部研修の継続実施により、障害への正しい理解と虐待防止に努めた。
- キ シルバー大生や中学生等の施設体験研修の受け入れや、ボランティアの協力による各種行事の実施など、地域との交流を積極的に行った。
また、ホームページの更新を行い、施設の情報を広く公開するとともに利用者とその家族に周知した。
- ク 就労支援事業については、さくら市役所のほか、企業や各種イベントでの販売を通し、自主製品の販路の確保に努めた。
- ケ 地域生活への移行については、対象者の身体状況及び意識の変化に留意し、随時アセスメントを実施するなど意識向上に努めた。
- コ 施設の建替整備については、利用者の安全確保を最優先に、振動、騒音など生活への影響が最小限となるよう配慮しながら第3期工事を進め、予定通り2月に管理給食棟が完成した。
- サ 地域における公益的な取組として、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会のいちごハートねっと事業に参加し、地域ニーズに応えられる施設づくりを目指した。
また、さくら市と災害発生時における指定福祉避難所の設置運営に関する協定を締結し、地域の障害者の避難所機能としての役割を担うこととなった。

(2) 利用者の状況

生活支援施設（利用定員 生活介護53名 施設入所支援50名）

(人)

年 齢	性 別	項 目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度	利 用 者 数	利 用 者 数	利 用 者 数	利 用 者 数	在 籍 者 数	在 籍 者 数	入 所	退 所	27	28	27
18～29歳	男		12		1.0		1						
	女												
30～39歳	男			12	1.0		1						
	女			14	1.2		1		2				1
40～49歳	男	45	28	3.8	2.3	4	3	1	1				
	女	12	13	1.0	1.1	1	2		1				
50～59歳	男	60	82	5.0	6.8	5	8		2				1
	女	48	36	4.0	3.0	4	3						
60～69歳	男	154	108	12.8	9.0	13	9	1			2		2
	女	84	60	7.0	5.0	7	5						1
70歳以上	男	72	100	6.0	8.3	6	8		1	1			1
	女	108	115	9.0	9.6	9	9						2
計	男	343	330	28.6	27.5	29	29	2	4	3			4
	女	252	238	21.0	19.8	21	20		3				4
合 計		595	568	49.6	47.3	50	49	2	7	3			8

就労支援施設（利用定員 生活介護45名 就労継続支援B型20名 施設入所支援50名）

(人)

年 齢	性 別	項 目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度	利 用 者 数	利 用 者 数	利 用 者 数	利 用 者 数	在 籍 者 数	在 籍 者 数	入 所	退 所	27	28	27
18～29歳	男		12	12	1.0	1.0	1	1					
	女												
30～39歳	男		12	12	1.0	1.0	1	1					
	女		12	12	1.0	1.0	1	1					
40～49歳	男	48	36	4.0	3.0	4	3						
	女	24	31	2.0	2.6	2	3		1				
50～59歳	男	84	77	7.0	6.4	7	7		2				1
	女	36	36	3.0	3.0	3	3						
60～69歳	男	210	231	17.5	19.3	18	19	1			2		1
	女	36	24	3.0	2.0	3	2						
70歳以上	男	84	81	7.0	6.8	7	6(1)						2(1)
	女	24	36	2.0	3.0	2	3				1		
計	男	450	449	37.5	37.4	38	37(1)	1	2	2			4(1)
	女	132	139	11.0	11.6	11	12		1	1			
合 計		582	588	48.5	49.0	49	49(1)	1	3	3			4(1)

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等	
4	共通		○防災教育 (新任者、転任者)		
	生活	○花見			
	就労	○お楽しみ会			
5	共通	○結核検診		○施設見学 (さくら市民生委員児童委員)	
	生活				○食事会
	就労				○旅行 ○お楽しみ会
6	共通	○子宮ガン検診	○普通救命講習	○施設見学 (さくら市民生委員児童委員)	
	生活				○子犬とのふれあい教室
	就労				○旅行
7	共通	○血液検査		○施設見学 (のざわ特別支援学校親子)	
	生活				
	就労				○かたりべ(さくら民話の会) ○旅行
8	共通			○職場体験学習 (氏家中学校) ○地域活動実習 (シルバー大学校)	
	生活				○劇団玉手箱公演
	就労				○お盆中お茶会 ○お楽しみ会
9	共通		○総合防災訓練	○施設見学 (のざわ特別支援学校) ○施設見学(県立盲学校)	
	生活				○食事会
	就労				○栃木県障害者スポーツ大会 ○旅行 ○お楽しみ会
10	共通	○心電図検査 ○乳ガン検診 ○結核検診	○防災教育	○施設見学(わかくさ)	
	生活				○家族交流食事会 (さくら会主催)
	就労				○旅行 ○レクリエーション
11	共通	○インフルエンザ予防接種	○総合洪水避難訓練	○福祉の授業 (さくら清修高校訪問) ○福祉学習会 (押上小学校訪問) ○施設見学 (NPO法人ふれあい)	
	生活				○食事会(さくら会主催) ○福祉劇団やすらぎ公演 ○日産労連クリスマスチャリティー 公演
	就労				○お楽しみ会
12	共通		○普通救命講習	○施設体験実習 (さくら清修高校) ○施設見学 (宇都宮人権擁護委員協議会) ○福祉のおしごと説明会 (喜連川中学校訪問)	
	生活				○クリスマス会&忘年会
	就労				○クリスマス会&忘年会
1	共通			○施設見学 (さくら市民生委員児童委員)	
	生活				○新年会
	就労	○新年会			
2	共通				
	生活				○食事会(さくら会主催)
	就労				○節分 ○お楽しみ会
3	共通	○肺炎球菌予防接種	○総合防災訓練	○施設見学 (のざわ特別支援学校)	
	生活				○管理給食棟移転 ○ひなまつり
	就労				○お楽しみ会
定例	共通	○嘱託医健康相談 内科・整形外科 (月2回) ○体重・血圧測定(毎月) ○歯科治療(随時)	○避難訓練(月1回) ○防犯訓練(月1回) ○消防設備保守点検 (年2回) ○火気・閉鎖障害 点検(毎日)	○那珂川苑、さくら市ミュー ジウム委託販売(通年) ○自主製品販売 (イベント等) ○学生施設実習(随時)	
	生活				○映画会(月1回) ○外出 ○小グループ活動 (毎週水曜日午前)
	就労				

イ 就労支援事業

(ア) 受託部

区分	年度 項目	27		28	
		個 数	金 額 (円)	個 数	金 額 (円)
加工科		2,008,845	7,964,485	1,881,306	7,949,027
	部品加工	940,826	4,157,997	921,488	4,044,828
	線香箱詰め等	508,686	1,874,836	560,576	2,065,489
	ゴム製品の加工	388,727	1,417,332	334,102	1,442,565
	ラジエーター部品の加工			43,124	308,340
	ニラ袋詰め	147,038	476,397	22,008	71,305
	看板ステッカー貼付	2	4,500	8	16,500
	A 4 用紙折	10,500	23,100		
	水道パッキンバリ取り	13,066	10,323		
クリーニング科			1,057,536		1,057,536
リサイクル科		23,120	242,504	24,735	256,092
合 計			9,264,525		9,262,655

(イ) 製造部

区分	年度 項目	27		28	
		個 数	金 額 (円)	個 数	金 額 (円)
門	松	2	40,000		
お手拭きドレス		209	112,440	46	22,750
小	物	1,175	292,810	756	181,535
草木染		23	11,200	425	682,770
合 計		1,409	456,450	1,227	887,055

(ウ) 工賃

(円)

区分	年 度	生活介護		就労継続支援B型	
		27	28	27	28
総支給額	A	3,954,161	4,050,230	4,488,367	4,587,609
支給人数	B	41人	48人	24人	25人
平均支給額	A / B	96,443	84,380	187,015	183,504
最高支給額		213,702	200,673	264,795	276,454
最低支給額		25,525	52,872	86,961	80,379

注) 各事業の最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

事業名	施設名	期間	延利用日数 (日)	実利用人数 (人)	備考
短期入所事業	生活支援施設	通 年	945(954)	15(10)	平成7年 4月開始
	就労支援施設		261(205)	11(6)	
	計		1,206(1,159)	26(16)	
日中一時支援事業	生活支援施設	通 年	232(248)	5(3)	平成18年 10月開始
	就労支援施設		8(20)	2(2)	
	計		240(268)	7(5)	

注) () 内は、平成27年度の実績を示す。

6 保育所 宝木保育園

(1) 事業執行概要

宝木保育園の基本方針及び保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考えた保育サービスの提供に努め、地域に開かれた保育所を目指し、地域の子育て拠点として、子育て相談や交流事業、ボランティアの受入れ等を継続的に実施した。

ア 延長保育、休日保育及び一時保育を実施することにより、就労形態の多様化に対応した保育サービスの充実を図った。

イ 福祉サービス第三者評価の受審結果を踏まえた改善を行い、サービスの質の向上に向け、具体的に取り組んだ。

ウ 子ども一人ひとりの豊かな感性・情操を高めることを目的に、「こころ・からだ・げんき・宝木っ子」と題し、外部講師によるリトミック・英語・運動を定期的の実施するとともに、職員を対象とした研修を実施し、常時保育にも取り入れていくことで、日々の保育の充実を図った。

エ 保護者を交えての行事を重視し、保育参観や保育体験を通年で実施する等、保護者に園児の日常を見てもらうことで、家庭保育に対する理解と関心を深める機会を多く設けた。

オ 県立聾学校幼稚部との交流保育や地域の保育所の行事への参加交流を行ったほか、世代間交流事業では、地域のシルバーボランティアによる絵本の読み聞かせや、四季折々の行事に参加してもらい、交流を深めた。

カ 安全な食事提供を目的として、日々の食材管理や放射性物質検査を継続的に実施した。食育については、「心を育てる食事」を目標とし、食育体験の内容を充実し、「食」に対する感謝の気持ちを育んだ。

また、アレルギー除去食や体調に合わせた食事の提供を行った。

キ 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）においては、地域の親子が気軽に利用できるよう努めるとともに、子育てに関する情報発信や相談等の受入れ等地域の子育て拠点としての役割を果たした。

(2) 利用者の状況（利用定員 160名）

(人)

年 齢	項 目 年 度	年 間 延 利 用 者 数		月 平 均 利 用 者 数		3月31日現在 在 籍 者 数		入 所		退 所	
		27	28	27	28	27	28	27	28	27	28
乳 児	0歳児	150	213	12.5	17.7	20	22	20	18	2(1)	1
	1歳児	392	356	32.7	29.7	33	29	15	16	1(1)	1
	2歳児	379	380	31.6	31.7	31	32	5	1	4(2)	3(2)
幼 児	3歳児	372	356	31.0	29.7	31	29	4	1		2
	4歳児	341	360	28.4	30.0	28	30	2		2(1)	
	5歳児	325	336	27.1	28.0	27	28		1	28(27)	28(28)
合 計		1,959	2,001	163.3	166.8	170	170	46	37	37(32)	35(30)

注) ()内は、3月31日付けの退所児の再掲。

(3) 事業実績

事業一般

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	○入園式 ○お花見会（卒園児との交流） ○保護者会総会 ○保護者とのクラス懇談会			
5	○こどもの日のつどい ○園外保育（3・4・5歳児） ○春の遠足（3・4・5歳児）	○健康診断 ○尿検査 ○放射性物質検査（調理済）		
6	○保育参観（4・5歳児） ○園学校との交流	○歯科検診 ○害虫駆除		
7	○夏まつり（卒園児・高齢者との交流） ○七夕まつり ○保護者体験保育（2月まで） ○プール開き ○お泊り保育（5歳児）	○害虫駆除		
8	○宮っこパレード（4・5歳児）	○厨房クリーニング		
9	○遠足（2歳児）	○害虫駆除	○消防用設備保守点検 ○竜巻想定避難訓練	○宇都宮市北生涯学習センター文化祭（作品展示）
10	○運動会（卒園児・高齢者との交流） ○園外保育（4歳児） ○親子レクリエーション（3歳児）		○交通安全教室 ○総合防災訓練	○宮っこフェスタ ○栃木県障害者文化祭
11	○園外保育（3・4・5歳児） ○マラソン大会（園学校との交流） ○クラス懇談会・親子観劇会	○健康診断 ○尿検査	○不審者想定避難訓練	
12	○修園旅行（5歳児） ○おゆうぎ会（卒園児交流） ○クリスマス会（高齢者との交流）	○害虫駆除		
1	○お正月あそび（卒園児・高齢者との交流） ○お別れ遠足（高齢者との交流） ○園学校との交流	○歯科検診		○あゆみ北保育園コンサート
2	○節分 ○保護者との個人懇談 ○新入園児説明会及び面接			
3	○人間びな撮影（高齢者との交流） ○新入園児説明会及び面接 ○ひなまつり ○お別れ会食 ○卒園式		○消防用設備保守点検 ○不審者想定避難訓練	
定例	○誕生会（月1回） ○リトミック教室（年10回） ○英語教室（年10回） ○体操教室（年6回） ○サッカー教室（年5回） ○食育（食育だより年3回発行） ○保健（保健だより年3回発行）	○身体計測（月1回） ○空間放射線量率測定（月1回） ○環境整備（月1回）	○避難訓練（月1回） ○消火器取扱訓練（月1回） ○機械警備委託	○宮っこチャレンジ受入 ○学生保育実習 ○子育て相談事業 ○ボランティア受入 ○高校生体験学習 ○朗読ボランティア（月1回） ○図書ボランティア（毎週金曜日） ○わくわく体験受入

7 栃木県障害者保養センター那珂川苑

身体障害者福祉センター
(障害者更生センター)

(1) 事業執行概要

指定管理者として、障害者とその家族が気軽に宿泊、休養し、レクリエーション等を通して、相互の触れ合いと親睦を深められるよう次の事業を行った。

ア 専門的で質の高いサービスを提供していくため、アンケートの実施等により、利用者ニーズの的確な把握に努めた。

イ 利用者の個々の障害に応じたきざみ食や減塩食などを提供したほか、家庭的な温かみのある食事の提供に努めた。また、地元特産品であるホンモロコの料理を新たに提供した。

ウ 専門性を有する職員による入浴介助サービスを行い、日々の介護にあたる家族の介護疲れを和らげるように努めた。

エ 障害者の雇用促進や就労訓練に積極的に取り組むとともに、障害者の作品販売コーナー「福祉の店」の品揃えの充実や地元工芸作家の作品展示・販売を行い、特色ある施設づくりを推進した。

オ 利用者に楽しく過ごしていただけるよう客室前廊下の壁面を「那珂川苑ギャラリー」と称して、障害者の作品やシルバー大生、地元作家等の作品（絵画、写真、書、切り絵等）を常設展示し、作品発表と美術鑑賞の場として提供した。

カ 様々な誘客対策を行い、施設の利用促進に努めた。

- ・県内の福祉施設、特別支援学校等のほか、近隣の市・区役所や社会福祉協議会等への訪問営業
- ・ダイレクトメールの送付や栃木県及び東京都、埼玉県内における新聞広告
- ・インターネット予約受付や閑散期の温泉トラフグ料理の割引など各種キャンペーンの実施

キ 那珂川苑&那珂川グリーンヒルふれあい祭のほか、お楽しみ演芸会（まほろばがたり、マジックショー）や日曜朝市、そば打ち体験、小砂焼絵付け体験など様々なイベントを実施し、施設のイメージアップと馬頭温泉郷のアピールを行った。

ク 館内外の点検や清掃、施設整備及び防災対策を計画的に実施し、障害者をはじめとした利用者が安全で快適に利用できる施設づくりに努めた。

(2) 事業実績

ア 宿泊利用状況（利用定員 80名）

(人)

利用者別	項目 年度	年間利用者数		月平均利用者数	
		27	28	27	28
障害者	大人	8,468(72.5)	8,174(72.5)	705.7	681.2
	小人	209(1.8)	182(1.6)	17.4	15.2
	計	8,677(74.3)	8,356(74.1)	723.1	696.4
その他	大人	2,835(24.3)	2,751(24.4)	236.2	229.2
	小人	170(1.4)	167(1.5)	14.2	13.9
	計	3,005(25.7)	2,918(25.9)	250.4	243.1
合 計		11,682(100.0)	11,274(100.0)	973.5	939.5

注) () 内は、構成比 (%) を示す。

イ 宿泊稼働率状況 (％)

区分	項目 年 度		年 間 稼 働 率	
	27	28	27	28
定員稼働率	39.9		38.6	
客室稼働率	69.9		67.2	

ウ 休憩利用状況 (人)

区分	項目 年 度		年 間 利 用 者 数		月 平 均 利 用 者 数	
	27	28	27	28	27	28
一 律	3,029		2,759		252.4	229.9

エ 送迎バス利用状況

区分	項目 年 度		年 間 運 行 回 数 (回)		年 間 走 行 キ ロ 数 (km)		年 間 利 用 者 数 (人)	
	27	28	27	28	27	28	27	28
利用回数等	121		125		16,888	20,159	2,837	2,710

オ 入浴介助実施状況 (人)

区分	年 度	
	27	28
実 人 数	72	58
延 人 数	129	94

カ イベントの実施状況

実施年月日	イベント名	備 考
毎月第1土曜日	まほろばがたり	町文化協会語り部部
毎月第3土曜日	お楽しみ演芸会	マジックショー
毎週日曜日	日曜朝市	地元野菜等の販売
28. 4～	二次会場 (ラウンジ) カラオケ無料デー	宿泊利用者が20名以下の日は、宿泊者のカラオケ無料
28. 6. 11・12・15	「県民の日」無料開放	延利用者数373名 餅の配布、リハビリ相談会、カラオケ、草花苗販売、焼鳥販売等
28. 8. 1～31	花火セットサービス	夏休み期間中、小学生以下の子供連れ家族等に花火セットを提供

実施年月日	イベント名	備考
28. 9. 11	那珂川苑&那珂川 グリーンヒルふれあい祭	地域との交流と施設のイメージアップ及び 馬頭温泉郷のアピール
28. 12. 26 29. 1. 11	そば打ち体験	希望する宿泊利用者を対象に霧ヶ岳そば道 場にてそば打ち体験を実施
28. 12. 3～9	障害者の日記念事業	県内福祉施設紹介及び作品販売 福祉施設 清風園・桜ふれあいの郷（さくら市） みつわ工房・やみぞひまわり（那須烏山市） ぼらーれ・那珂川町社協・もうひとつの美術 館・衣着るよろこび（那珂川町）
28. 12. 1～29. 3. 21	甘酒サービス	チェックイン時無料サービス
29. 1. 1～3	新春企画	初詣送迎サービス、餅の配布、ドリンクサー ビス
29. 1. 26～2. 28	開設日記念事業	記念品進呈
29. 2. 2	小砂焼絵付け体験	希望する宿泊利用者を対象に小砂焼の絵付 け体験を実施

キ 保健衛生

実施事項	実施年月日	備考
健康診断	28.12. 6	全職員 栃木県保健衛生事業団
検 便	28. 8.19 29. 2. 6	全職員 栃木県保健衛生事業団
	毎月1回	調理関係職員 栃木県保健衛生事業団

ク 防災対策

実施事項	実施年月日	備考
総合防災訓練	28. 9. 21 29. 3. 13	那珂川苑
那珂川苑（消防署立会い） 消防設備保守点検	28. 9. 21 29. 3. 13	栃木県消防設備保守協会

8 とちぎ健康づくり・生きがいづくりセンター

(1) 事業執行概要

ア とちぎ健康づくりセンター

県民の一人ひとりが生涯にわたり健康でいきいきと暮らせる、豊かで活力のある「健康長寿とちぎ」の創造を目指し、県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため各事業を実施した。

(ア) 施設利用講習及び施設利用カードの更新

施設利用に当たっては、施設利用講習を要件とし、安全で効果的な運動実践のきっかけづくりや運動習慣化につなげるための説明及びトレーニング講習を行った。

また、施設利用カード更新時に健康状態の確認を行い、必要な者には保健師等による面接を行った。

(イ) 体力測定

利用者が自分の体力を知り、安全で効果的な運動実践ができるよう、希望者に体力測定を実施した。

(ロ) 運動実践メニューの作成

体力測定受検者のうち、希望者には、個人の目的や健康状態に応じて運動実践メニューを作成し、健康づくりを効果的・効率的に継続実践できるよう支援した。

(ハ) 健康づくり相談等

施設利用者及び県民を対象に、運動・栄養・休養等の個別相談指導を行った。

また、協力機関の栃木県保健衛生事業団と連携し、医師による健康相談やミニ健康まつりを開催した。

(ニ) 施設利用指導

施設利用者を対象に、温水プール、トレーニング室、ランニングデッキ及びリラクゼーションルームの施設利用指導を行った。

(ホ) 健康づくり講座

運動の安全性・有効性や生活習慣病予防、介護予防、親子健康づくり等の講座を開催し、健康づくりのための運動習慣の動機付けを行った。

(ヘ) 集団指導

運動の継続的な実践を目的に、施設利用料金の中で参加できる集団指導を実施した。

(コ) 普及啓発

県民への健康づくり情報等の提供と健康増進への普及啓発を行った。

(ク) 市町等支援

市町の健康づくり事業支援及び各種団体等からの要請に応じ、講師として職員を派遣した。

(カ) センター施設等の維持管理

とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの利用者が安全・安心して利用できるよう、施設内外の設備整備及び環境整備を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

(ウ) 情報提供及び広報活動

県所管課等との連携により、健康づくりキャンペーン等に合わせ、健康づくりに関する様々な情報を健康情報提供コーナーで紹介した。

また、ホームページや情報誌「さんぽ」（年2回発行）等において情報の提供を行ったほか、民間の生活情報サイトを活用した広報活動を実施した。

さらに、利用促進対策として、健康の森を題材にした写真展、健康や運動をテーマにした川柳コンテスト及び健康づくりを目的としたウォーキング教室を開催した。

(エ) 利用者サービスの向上

質の高いサービスの提供や魅力ある施設づくりのために利用者へのアンケート調査等を行い、施設に対する満足度や要望を把握するとともに、利用者からの苦情等に誠意を持って迅速かつ適切に対応するなど、施設や業務の改善に努めた。

また、利用開始時間の延長や家庭の日における運動フロア無料開放を行った。

(オ) 連絡調整

入居団体との連絡調整及びとちぎリハビリテーションセンター、わかくさ特別支援学校との緊密な連携のもと、防火・防災・防犯対策、喫煙対策等を含むとちぎ健康の森全体の管理運営に努めた。

イ とちぎ生きがいづくりセンター

高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を構築するため、栃木県シルバー大学校を運営し、積極的に地域活動を実践する高齢者の養成を図るとともに、高齢社会を豊かに過ごせるよう必要な知識・教養を身に付けるための各種の学習機会を提供した。

(2) 事業実績

ア 健康づくりセンターの利用状況(1)

(時間)

区 分	項目 年 度	年 間 利 用 時 間		月 平 均 利 用 時 間	
		27	28	27	28
大 会 議 室		1,334	1,423	111.2	118.6
小 会 議 室		1,047	1,256	87.3	104.7
多 目 的 的 フ ロ ア	A 全 面	851	1,002	70.9	83.5
	A 2 / 3 面				
	A 1 / 2 面	363	134	30.1	11.2
	A 1 / 3 面				
	B	668	647	55.7	53.9
	C	854	947	71.2	78.9
	計	2,736	2,730	227.9	227.5
エアロビクススタジオ		1,349	1,438	112.4	119.8
運 動 フ ロ ア	全 面	406	360	33.8	30.0
	1 / 2 面	397	264	33.1	22.0
	1 / 3 面	713	698	59.4	58.2
	1 / 6 面	146	134	12.2	11.2
	計	1,662	1,456	138.5	121.4
合 計		8,128	8,303	677.3	692.0

イ 健康づくりセンターの利用状況(2)

(人)

区 分	項目 年 度	年 間 利 用 者 数		月 平 均 利 用 者 数	
		27	28	27	28
施 設 利 用 講 習	大 人	2,269	2,642	189.1	220.2
	小 人	176	193	14.7	16.1
	計	2,445	2,835	203.8	236.3
施 設 利 用 カ ー ド 更 新	更 新 者 数	1,130	1,052	94.2	87.7
	面 接 者 数 (再 掲)	394	367	32.8	30.6
体 力 測 定		416	423	34.7	35.3
温 水 プ ー ル ト レ ー ニ ン グ ル ー ム ラ ン ニ ン グ デ ッ キ リ ラ ク ゼ ー シ ョ ン ル ー ム		76,625	80,056	6,385.4	6,671.3
合 計		80,616	84,366	6,718.1	7,030.6

ウ 健康づくりセンターの利用状況(3)

(上段：人、下段：回)

区 分	項目 年 度	年 間 利 用 者 数		月 平 均 利 用 者 数	
		27	28	27	28
施 設 利 用 講 習	受 講 者 数	2,445	2,835	203.8	236.3
	実 施 回 数	184	191	15.3	15.9
体 力 測 定	受 検 者 数	416	423	34.7	35.3
	実 施 回 数	118	137	9.8	11.4
健 康 づ け り 講 座	受 講 者 数	1,752	1,676	146.0	139.7
	実 施 回 数	18種 110	19種 123	9.2	10.3
集 団 指 導	受 講 者 数	13,352	12,301	1,112.7	1,025.1
	実 施 回 数	22種 669	24種 649	55.8	54.1
計	受 講 者 数 等	17,965	17,235	1,497.2	1,436.4
	実 施 回 数	1,081	1,100	90.1	91.7

注) 健康づくり講座については、介護予防事業等を含む。

エ 生きがづくりセンターの利用状況

(時間)

区分	項目 年度	年間利用時間		月平均利用時間	
		27	28	27	28
講	堂	647	729	53.9	60.8
演習室	A	516	518	43.0	43.2
	B	274	282	22.8	23.5
多目的	ホール	378	402	31.5	33.5
教室	A	436	519	36.3	43.3
	B	365	322	30.4	26.8
	C	406	396	33.8	33.0
	D	340	284	28.3	23.7
	E	125	79	10.4	6.6
	F	533	520	44.4	43.3
和	室	161	188	13.4	15.7
テニスコート		3,287	3,241	273.9	270.1
県南支所	教室 A	114	151	9.5	12.6
	教室 B	10		0.8	
	教室 C	221	224	18.4	18.7
	教室 D	72	72	6.0	6.0
	教室 E				
	教室 F	116	124	9.7	10.3
	演習室	6		0.5	
	和室	142	154	11.8	12.8
	屋外運動場				
	講堂兼体育館		4		0.3
県北支所	教室 A	317	333	26.4	27.8
	教室 B	207	291	17.3	24.3
	教室 C	146	144	12.2	12.0
	教室 D	104	169	8.7	14.1
	教室 E	86	77	7.2	6.4
	教室 F	66	96	5.5	8.0
	演習室	9	49	0.8	4.1
	和室	30		2.5	
	多目的ホール	83	153	6.9	12.8
合計		9,197	9,521	766.3	793.7

オ 栃木県シルバー大学校学生数 (平成29年3月31日現在)

(人)

学校名 (期別定員)	37 期 生			38 期 生			合 計		
	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計	男 性	女 性	計
中央校 (320)	122	141	263	156	139	295	278	280	558
南 校 (120)	80	40	120	62	64	126	142	104	246
北 校 (120)	57	36	93	47	54	101	104	90	194
合 計 (560)	259	217	476	265	257	522	524	474	998

9 高齢者生きがいづくり支援事業

(1) 事業執行概要

ア ねんりんピックとちぎ開催事業

高齢社会がより明るく生きがいのある社会となるよう、高齢者のスポーツ、レクリエーション、文化活動や創作活動等、健康と生きがいづくりの支援を図るスポーツ・文化交流大会やシルバー作品展を5月に県内4市2町で開催した。

イ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣事業

10月に、「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」へ149名の選手派遣を行った。

ウ 生きがい推進員運営事業

生きがい推進員の地域活動をより発展拡充させるため、各市町や関係機関等との連携を深めるとともに、地域文化の伝承や世代間交流の促進を図る伝承講座の開催を支援する等、地域における活動の体制づくりを推進した。

エ 介護保険制度関連事業

介護保険制度における指定試験実施機関として、10月に介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

また、介護支援専門員の資質向上を目的とした指定研修実施機関として、試験合格者に対する研修、現任者に対する専門研修、更新研修等を実施した。

オ 情報提供事業

高齢者がいきいきと明るく豊かな生活を送れるよう、情報誌「いきいきとちぎ」を年4回発行し、高齢者情報を中心に、就労、社会活動、スポーツ大会等イベントに関する情報の提供を行った。

カ 賛助会員事業

賛助会員制度の普及と加入を促進するため、当協会が実施する事業の機会に賛助会員制度のPRを行った。

(2) 事業実績

ア イベントの開催状況

イベント名	実施日	実施会場
ねんりんピックとちぎ2016	28.5.6～5.29	とちぎ健康の森他
第29回全国健康福祉祭ながさき大会	28.10.15～18	長崎県各市町

イ 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	年度	27	28
実施日		27. 10. 11	28. 10. 2
申込者数(人)		1,803	1,677
受験者数(人)		1,630	1,487
合格者数(人)		254	205
合格率(%)		15.6	13.8

ウ 介護支援専門員研修

研修名	年度		28		備考	
	区分	27	28	28		
		実施日	受講者等(人)	実施日	受講者等(人)	
介護支援専門員実務研修		27. 6 ～28. 3	受講者数 272 修了者数 263	28. 12 ～29. 3	受講者数 187 修了者数 186	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対する研修
介護支援専門員実務従事者基礎研修		27. 7 ～9	受講者数 90 修了者数 87	/	/	介護支援専門員として必要な知識、技能を有する介護支援専門員の養成を図る研修
介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ)		27. 6 ～7	受講者数 131 修了者数 128	28. 6 ～9	受講者数 121 修了者数 117	就業後6ヵ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)		27. 9 ～11	受講者数 189 修了者数 186	28. 6 ～11	受講者数 117 修了者数 117	就業後3年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修		27. 12 ～28. 2	受講者数 63 修了者数 63	28. 11 ～29. 2	受講者数 59 修了者数 59	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修
介護支援専門員更新研修(実務未経験者)		27. 6 ～28. 3	受講者数 75 修了者数 74	28. 12 ～29. 3	受講者数 42 修了者数 37	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職としての能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修(実務経験者)		27. 6 ～11	受講者数 305 修了者数 303	28. 6 ～11	受講者数 183 修了者数 173	
介護支援専門員再研修		27. 6 ～28. 3	受講者数 109 修了者数 105	28. 12 ～29. 3	受講者数 78 修了者数 77	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
主任介護支援専門員更新研修		/	/	28. 1 ～12	受講者数 98 修了者数 93	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たすために必要な能力の保持・向上を図る研修
合計		/	受講者数 1,234 修了者数 1,209	/	受講者数 885 修了者数 859	